



日田の今が見える、日田のこれからが見えてくる

# 市議会だより



ウッドコンビナート内に完成した「ウッド平島公園」

## もくじ

- |                                 |  |
|---------------------------------|--|
| ● 6月定例会で審議した議案とその結果<br>…2ページ    | ● 各委員会の議案等の審査結果・議会の動き<br>…10～11ページ       |
| ● 市政に反映、皆さんの声<br>(一般質問) …3～9ページ | ● 請願の結果・意見書・人事案件・公職選挙法に<br>関するQ&A …12ページ |

## 6月定例会で 審議した議案とその結果

# 6月 定例会

## 日田市暴力団排除条例を制定

平成二十三年第二回定例会は、六月六日から会期二十二日間で開催されました。  
この議会では、条例の制定、一部改正、二千五百三十九万五千円を追加する平成二十三年度一般会計補正予算など、八件の議案について審議を行い、それぞれ左記のとおり決定いたしました。

●会期  
6/6～6/27



- 日田市暴力団排除条例の制定について  
(原案可決・全員)
- 日田市税特別措置条例の一部改正について  
(原案可決・全員)
- 日田市国民健康保険税条例の一部改正について  
(原案可決・多数)
- 日田市企業立地促進条例の一部改正について  
(原案可決・全員)
- 工事委託協定の締結について  
(原案可決・全員)
- 平成二十三年度日田市一般会計補正予算(第一号)  
(原案可決・全員)
- 専決処分(日田市税条例の一部を改正する条例)の承認について  
(原案承認・全員)
- 人権擁護委員の推薦について  
(原案同意・全員)

暑中お見舞い  
申し上げます

- |        |        |
|--------|--------|
| 議長     | 井上 明夫  |
| 副議長    | 溝口 千壽  |
| 議員     | 大谷 敏彰  |
| 赤星 仁一郎 | 嶋崎 健二  |
| 吉田 恒光  | 石橋 邦彦  |
| 日隈 知重  | 中野 靖隆  |
| 樋口 文雄  | 高瀬 剛   |
| 坂本 盛男  | 坂本 茂   |
| 飯田 茂男  | 古田 京太郎 |
| 森山 保人  | 羽野 武男  |
| 松野 勝美  | 田邊 徳子  |
| 立花 正典  | 岩見 泉哉  |
| 財津 幹雄  | 権藤 清子  |
| 坂本 茂   | 居川 太城  |

## 一般質問

# 市政に反映 皆さんの声



平成二十三年第二回市議会定例会では、六月十三日、十六日、十七日の三日間にわたり、市政に関する一般質問が行われ、十六人の議員が諸問題について質問しました。それぞれの質問の中から、その要旨をお知らせします。

### 本市のエネルギー政策について

古田 京太郎

**質問** 原発問題について、市長の考えを伺いたい。

**市長** 原子力政策については、国の方針としてどう見直すか、国民の議論が必要であると考え。将来的には、再生可能なエネルギーを考えていかなければならないと思っている。

**質問** 再生可能なエネルギーの普及・促進をどのように進めるのか伺いたい。

**部長** 公共施設や住宅用太陽光発

電、バイオマス発電、小水力発電など設置可能なものから導入を進めたい。現在の利用割合の四・五%から十%まで引き上げるよう取り組んでいきたい。

**質問** 大地震によるダム決壊について、どのような対策を考えているか伺いたい。

**市長** 松原、下笠ダム地点に最も影響を及ぼすと思われる最大地震は、別府万年山断層帯の震度六強程度と推定され、両ダムは、地震に対する安全性は守られている。見直しに当たっては、被害想定をどこまで大きくする必要があるか、防災会議等で検討、協議したい。

**質問** 教材費等の保護者負担軽減

は、今後も継続できるのか。また、選定の在り方について伺いたい。

**教育長** 教材費購入に係る保護者の経済的負担を軽減することにより、子どもに安心して教育を受けさせることができる環境づくりのため、今後とも継続して事業を実施するものである。選定に当たっては、学校長の裁量により教材を選定できるものとしている。

### クンチョウ酒蔵と美術館は別々に

樋口 文雄

**質問** 酒蔵活用基本構想案の説明会での市民の意見について伺う。

**市長** 市民の方々から様々な意見をいただいた。基本構想案のおおりに計画を進めるのではなく、現時点では今後のことは白紙である。

**質問** クンチョウ酒蔵の保存は大事故だと思うが、美術館は切り離し、他の場所での他の画家も含めた展示をしたらどうか伺う。

**市長** 基本構想をまとめたところであり、市民の声を聞き検討する。

**質問** 大きな施策を行うときは十分市民の声を聞くべきと思うが。

**市長** 今後はきつちりと説明をし、理解を得ながら進めていく。

**質問** 東日本大震災に見られる未曾有な災害に対して、どのような計画を練っているのか。

**部長** 地域と一体となり災害対策を検討し防災計画を見直していく。

**質問** 花月川の改修は毎年要望が出されているが、できていないのはどうしてか。

**部長** 優先順位もあるが、藤山・住吉地区改修の必要性は認識しており、再度要望を上げていく。

**質問** 省エネルギー対策は数字を具体的に上げて対処したらどうか。

**部長** 前年度使用量以下に抑えるというところで毎年取り組んでいる。

**質問** 市民に分かりやすいように

### 災害対策について

松野 勝美

市内のエレベーターを一台休止するとか、残業時間を減らし電気の使用料を減らしたとかの方が分かりやすいのではないかと。  
**市長** 残業は必要なだけしか行っていない。むしろ議員の方に実態をご覧いただきたい。残業を減らすために私を含め努力している。

**質問** 人間の想定をはるかに超える自然災害が、実際に起こり得るという現実を今回改めて思った。日田市として、どの程度の災害を想定し、どのように対策を講じているのか伺いたい。  
**部長** 防災ハザードマップを作成している。市民の自発的な避難の備えと円滑かつ迅速な避難を可能とし、災害を最小限にとどめることを目的としている。

**質問** 学校や公民館など、公共施設の避難場所について、耐震構造には問題点はないのか伺う。  
**部長** 学校など、随時進めている。まだ、全てが耐震施設ということになっていない状況で、詳細につ

いては、所管している課に照会を行っている。  
**質問** 一つの提案で、被災者支援システムの導入は考えられないか。

災害発生時の住民基本台帳のデータをベースに、被災状況を入力することで、罹災証明書の発行、支援金・義援金の交付、救援物資の管理など、被災したときにすぐに対応できるシステムとなっていると思うが、導入について伺う。  
**部長** 被災者が多くなれば、このシステムがないと、事務処理が困難な状況である。防災計画の見直しの中でも検討させていただきたい。

**質問** 地上デジタル未対応世帯の対応について伺う。  
**部長** 自治会長への協力依頼や地デジ移行に向けたチラシの全戸配布を行い、周知を図りたい。

**質問** この他、豆田の酒蔵、節電対策、期日前投票を質問した。

### 人材育成の基本的考え方を問う

財津 幹雄

**質問** 市の職員力、市民力の活用が、人材の育成、技量の向上の上

からも大事であり、市の事業成功の基本と思うがどうか。  
**市長** 基本とは思いますが内にはその良さは分からないこともあり、岩澤先生の美術館、酒蔵の活用など外の専門家の力を借りた。市職員が優秀ではないということではないし、今回のこともプロジェクトチームとして取り組んでいる。

**質問** 青年人材、女性リーダー研修等、複数年研修の方が有効と思うがどうか。  
**市長** 今は単年度事業だが、昔のことも参考にして検討する。

**質問** 幼児教育、学校教育、社会教育に独自性を持った取組を行っているか。  
**教育長** 本市教育には、咸宜園教育の理念を今年から生かすことにした。内容については、各学校の独自性を尊重する。社会教育については、拠点となる二十地区公民館を運営事業団の下一本化し、地区運営委員会と協議しながら、館長、主事、職員の研修を重ね、地域の方々が気軽に立ち寄り、利用できる施設運営に今後も努力する。

**質問** 職人人材の未来に希望が持てるのか所見を伺う。  
**部長** 伝統技能者の厳しい現実は

十分認識しており、市発注公共建築物は可能な限り木造とし、共同高等職業訓練校、技能大会等にも支援を続けている。豆田伝建地区を有する本市としては、伝統技能者の育成は責務と考えており、技能士会を中心とした関係団体で浮揚策を練る協議会を設置する。

### クンチョウ酒蔵活用の見直し

日隈 知重

**質問** 六月五日の説明会に参加した市民の意見は、酒蔵活用構想の見直しを求めている。見直しをどう進めるのか。  
**市長** 酒蔵に美術館を造ることは、市や県の美術関係者を入れた検討委員会からの答申を受け、市職員で作るプロジェクトチームで考えたもの。市民の声を反映させながら、今後の計画を進めたい。

**質問** 昨年五月の第二回検討委員会に、事務局である市が「保存場所はクンチョウ酒蔵」と提案している。クンチョウ酒蔵という意見は、第一回では全くなかったか。  
**部長** 第一回では、クンチョウ酒蔵という意見は出ていない。



クンチヨウ酒蔵活用基本構想は

**質問** 今年一月の第四回検討委員会で、三和酒類からカビ関係の説明を受けたことや、二階堂と山崎蒸留所の例で周辺の家の白壁が真っ黒になったなどを報告。県立芸術会館副館長が「クンチヨウは美術館や収蔵庫としては適さない」と発言している。検討委員会の答申と逆の結論になっていいのか。  
**部長** 麹菌の問題があることも把握している。今後の課題と捉えており、何ら矛盾する点はない。

として整備する。自閉症児を持つ保護者から「私たちの意見を聞かず、私たちのことを決めないでほしい」などの意見が出されている。計画の見直しは、検討しているか。  
**部長** 主な活用は地元の方々の活用であり、整備計画を見直すことは考えていない。

スポーツ振興、酒蔵購入について

立花 正典

**質問** 市民が、健康で生きがいを生み出す力となる、各種スポーツへの支援、振興について伺いたい。  
**市長** 日田が元気で、子どもも将来に夢や希望が持て、お年寄りが楽しく安心して暮らせる日田にしたい。そのためにもスポーツの振興は大きな要素であり、地域での大会等は、地域の輪作りとなるのに対応していく。

**質問** テニスコートの件も含め、竹田公園の整備計画について伺う。  
**教育次長** 公園は整備計画の策定中で、まだ結論が出ていない。  
**市長** 公園が老朽化している。地域の人の意見を聞き、競技団体の意見も聞きながら計画を進めたい。

**質問** クンチヨウ酒蔵購入の経緯と、その活用について伺いたい。  
また、岩澤画伯から頂いた九百五十点の内容について伺いたい。

**市長** 理解を得たいのは、酒蔵を守るということである。保存するために何年か文化庁の補助金ももらって修復していく。そして、修理後に美術館を入れたらどうか、それ以外の施設も入れ込もうとするということの、基本構想案を策定中である。

**部長** 九百五十点の内訳のリストは手元にない。絵や墨や焼き物、そしてスケッチブックが五十冊ほど入っているの、一万を超える点数となるので、早く市民に見せたい。

**質問** この他、スポーツ大会への交付金や補助金の根拠について質問した。

まちづくり公社と屋形船の活用

坂本 茂

**質問** 日田の底力を発揮する取組として隈地区観光再生となる、まちづくり公社による屋形船の活用について現況と今後の取組を伺う。

**市長** 屋形船は、日田を代表する観光資源であり、屋形船をより魅力的なものにして、観光客や市民が利用しやすい方法を考えている。また、関係者の皆様ともいろいろ意見交換を重ねてきて、これまで取り組んでいる所の視察も実施してきた。現在、それぞれの旅館が保有している屋形船の現状分析とか、問題点の抽出、利用者へのモニター調査等で、稼働率が50%を超えれば収益が出るという経営シミュレーションも行った。今後

も関係団体と協議を進めながら、まちづくり公社が中核となり、中心市街地活性化基本計画を作り、国に認定してもらい必要がある。市民の意見も聞きながら、前向きに取り組んでいきたい。

**質問** 今後の日田市全体の観光面との結びつきと展望はどうか。  
**市長** 拠点性を持った日田の目玉として何を育てていくかが必要だ。その拠点に多くの方が集まり、市内の他の魅力ある観光地に行ってもらう。そうなれば、観光による元気が生まれてくると思う。

**質問** 市内循環バスの実証運行による結果について伺いたい。  
**部長** 平成二十二年四月の乗客数

### 道路行政について

溝口千壽

は千三百七十四人と少なく、九月の乗客数は二千二十六人、十月はダイヤ改正を行い、三千百六人と大幅に伸び、利用者の生活を支える手段として、定着してきた。

**質問** 今後の運行計画も質問した。

**質問** 県道小畑日田線については、地元を中心に再三再四お願いや要望を繰り返しているが、着工の順番等の理由で、着工時期さえ明らかになっていない。

この路線は、単に道路改良という理由のみであれば延期は仕方ないと考えるが、この区間は約八百メートルの区間に小中学校があり、児童・生徒が危険にさらされ毎日通学をしている。この状況をどう把握しているのか、また着工についてはどう考えているのか伺う。

**部長** 県によると、平成二十年代後半の開通を目指している丸山五和線の一定のめどが立つまでは着工は難しいとのことである。しかし、高瀬地区の各団体から熱心な要望活動があり、それを踏まえ

幅改良の早期実現に向け、市として要望を行っていく考えである。

**質問** 市道銭花五条殿線は狭いのでカーブも多く、緊急車両の離合にも支障を来していると考ええる。

また、この路線を利用する方は、高齢者が多く緊急を要する場合も増えると考えられる。早急な改良が必要と考えるがいかがか伺う。

**部長** 指摘については十分認識している。現地調査と交通量調査を行い、用地の協力が得られれば、取組を考えていく。

**質問** 市道合谷谷向線は、かつて土砂崩れ等で人命が失われた危険箇所があるが、その危険箇所が長期間放置されている。早急な改善について伺う。

**部長** 昨年度、ガードレールで対処した。今後も安全で安心に通行できるように努める。

### 公共施設管理と天瀬の観光振興策を問う

羽野武男

**質問** 公共施設の管理について、できる限り少ない経費で、最適な施設の経営管理を行う、ファシリテイマネジメントの手法を取り入

れる考えはないか。

**部長** 更新期が到来するような施設については、将来の日田市の行政需要の変化など、その手法を参考にしながら、施設に要する有用性や必要性を見極めた上で、最適な施設の経営管理に努めていきたい。

**質問** 施設の有効利用という観点からすれば、例えば振興局の近くの郵便局や売店を振興局内に配置することも一つの有効利用につながるのではないかと思うがいかがか。

**部長** 特定郵便局は、いろんな課題があるようだが、郵便局以外にも含めて、市民の利便性を図れるような業種があれば、スペースや防犯面などを勘案しながら、今後検討していきたい。

**質問** 天瀬地域の観光振興を今後、どのように図っていく考えか伺う。

**部長** 観光関係団体や観光施設間の連携強化を促進し、天ヶ瀬温泉街と他の天瀬地域の観光施設や、体験農園等を組み合わせた観光ルートへの提案など、地域が連携した事業展開を促す。さらに、情報ツールのリニューアルや宣伝媒体の活用、地域の農産品や食をテーマ



天瀬地域の観光振興は

### 水環境の保全と創造について

坂本盛男

としたイベントの企画など、積極的な誘客対策を推進していく。また、地域内の観光施設の魅力アップのため、接客の向上のための研修会を通じて、ホスピタリティーの醸成にも努めていきたい。

**質問** 第二次環境基本計画策定に当たり、環境政策に対する基本的な考え方と、水環境の保全と環境について伺いたい。

**部長** 本市は、水と緑を初めとする豊富な環境資源に恵まれ発展してきたが、経済の発展や社会構造の変化に伴い、河川水質の悪化や水量の減少など、環境資源の機能や価値が低下しつつある。水郷ひたの名にふさわしい豊かで清らかな川が復活することで、川を生かした観光業を初めとする本市の産業の活性化や、新たな環境価値の創造にもつなげていくものである。

そこで、水郷ひた清流復活運動として、市民挙げて取り組んでいる大山川堰からの水量増加運動、筑後川流域が一体となって水環境の保全に努め、流域市町村や関係機関との協議や連携、上下流域の交流事業等に取り組んでいきたい。

**質問** 土地開発公社の理事に、議員が入っていない現状をどう考えるか伺う。

**市長** 他市町村の半数の公社で議員の理事がない。現行のまま進めていく。

**質問** 約三十億円の借入れがあり、市執行部が購入するめどが立たない塩漬けの土地もある。県内でも解散した例があるが、日田市ではどう運営していくのか伺う。

**市長** 一般財源から繰入れが必要

になるので、現時点で解散する考えはない。

**質問** この他、珍珠川(小ヶ瀬)右岸の改修、サマータイム及び時差出勤の導入、市営住宅についても、市長、部長に答弁を求めた。

### 大幅な国保税の引下げについて

大谷 敏彰

**質問** 昨年は、国保税が一人当たり十七・七％(モデルケースで三

十％)引き上げられ、市民の大きな怒りとなった。昨年度の決算見込みでは、療養費が増え支出が増えたのに、基金が予想より余り四億円となった。国保税が高過ぎたためではないか。

**部長** 引上げは適正であった。

**質問** 保険税に影響を与える療養給付費の伸び率を、三・三五％と高めに見込んでいることの見直しや、財政安定化支援事業の市の負担分を繰り入れれば、一人当たり八千円の引下げはできる。検討しなかったのか伺う。

**部長** 過去五年の平均で適切な伸び率ではないかと思う。

**市長** 財政安定化は、交付税だか

ら、使途は決められていない。他の事業に使おうと市の判断である。

**質問** 市の地域防災計画では、各課で進める地震対策が不明である。全体計画を明示すべきではないか。

**部長** 今後、防災計画を見直すので、公共施設等の耐震計画の基本的方針を盛り込んでいきたい。

**質問** 日田市耐震改修計画の個人住宅の改修が遅れている。今後の計画はどうするのか。

**部長** これまで耐震診断は三二件で、改修は十三件。現在四九％で平成二十六年の目標九〇％までは厳しい。啓発活動に力を入れたい。

**質問** その他、県下でも多い急傾斜地の危険箇所の対策の遅れを改善することや、雇用状況が悪化している中で、ふるさと雇用、緊急雇用に関する事業の継続を国に働き掛けることについて質問した。



### 中学生までの医療費の無料化

権藤 清子

**質問** 子育て盛りの若い人たちの収入減で、医療費など多大な出費になる。中学生までの医療費無料化と窓口負担ゼロにすべきではないか。

**部長** 中学生の通院の助成は、今後の子育て支援策の中で判断する。窓口負担ゼロは、多大な費用を要することから現状では困難である。

**質問** 二〇〇九年十二月議会で請願が採択されている。市長はこの重みをどう捉えているのか。

**市長** 重く受けとめている。保護者の負担軽減のためにもいろんな形で取り組み、県下各市の状況を見て検討していきたい。

**質問** 子育て中のお母さんにとつては、お金がなければ病院に連れて行けず、重症化してしまうので、現物給付(窓口負担ゼロ)はできないのか。

**部長** システム改修も必要となる。他市と共同にしても困難である。

**質問** 県が統一して通院まで補助するなら現物給付は可能か。

**部長** 県下統一になれば現物給付も可能である。

**市長** 県に対しても請願があったことも含め伝えていきたい。

**質問** 道路改良など安心、安全のまちづくりにおいて、住民の切実な要望があることについて伺いたい。  
**部長** 各地域を巡回し、管理を行っている。補修が可能なものについては対応している状況である。

**質問** 市道釜ヶ瀬線の亀の甲の舗装と離合所設置について伺いたい。  
**部長** 地区住民の意見を聞き、関係者と協議し、用地等の協力など設置可能であれば取組を考える。

## 日田のPRについて

岩見泉哉

**質問** 今、東日本の災害で原子力発電が大変大きな問題になっているが、今こそ、自然の美しい日田をPRする時ではないか。自然環境を破壊しない事業、例えば日田市バイオマス資源化センターや、日田ウッドパワーなどをアピールしていくことで、日田を訪れる人も多くなるのではないか。

私は事業もさることながら、日



バイオマス資源化センター

田市民の人は凄いなあと痛感させられた。所長から、バイオマスは生ごみ等のメタンガスでエンジンを回して発電をしているが、今まで六年間、生ごみの中に異物が入っていたことがなかったと聞いた。当たり前のことだが、こういった市民の人たちの、素晴らしいところも一緒にアピールして、日田から世界中に発信していけば、日田のPRにもなり、訪れる人も多くなるのではないだろうか。そういった企画ができるのかについて伺う。

**部長** 福島第一原発の事故に伴い、原子力に代わる再生可能エネルギーに対する関心が高まっており、本市のバイオマス発電や木質発電など先進的な発電施設は、今後、

大きな注目を集める施設になるものと認識している。豊かな自然や環境、農林業、伝統産業の資源を活用した体験メニューを組み入れた教育旅行の誘致は必要であると考えている。教育旅行の誘致にも積極的に取り組んでいきたいと考えている。

**質問** この他、林業についても質問した。

## 市民満足度志向の行政運営を

飯田茂男

**質問** 行政運営について、地域の将来に向けた投資的な施策や提案等は、市民からは見えにくく理解を得るには十分な説明と努力と時間を要する。兵庫県小野市は、市長の強い主導で「市役所は市内最大のサービス産業の拠点」と位置付け、市民を顧客として捉えた

「顧客満足度志向」「成果主義」「オンリーワン」「先手管理」の

四つを柱とした企業経営的な戦略と仕組みで積極的な行政運営に当たり、その成果に市民の評価も高い。市長の行政運営にこうした手法を加えてはいいかがか。

**市長** 市民の皆さんへ事務執行状況の公表はやっているが十分かどうかは議論いただき、見直すべきは見直したい。職員には前例踏襲をやめ、現場主義の徹底を指示しているが、広報広聴などを含めて、市民の皆さんが満足する行政サービスの手法について、市民の意見を聞きながら考えたい。このことは、本年に行財政改革大綱を策定する中で十分検討させていただく。

**質問** 市職員の給与水準だが、国家公務員給与水準を一〇〇として比較したラスパイレース指数が一〇一・九と高い。引下げは困難か。  
**市長** ラスパイレース指数が一〇〇を超える状況は好ましくないと考えている。総務省が地方公務員制度改革案をまとめる中で、国の人事院勧告や県の人事委員会の勧告廃止などが検討されており、その動向を注視し対応する。

**質問** 他に、市職員の定員管理の考え方、人事行政の運営状況の公表内容の拡充について質した。

国保税率改定と  
市民の意見募集

森山保人

**質問** 市長の考える国民健康保険税の適正な税額の水準は。

**市長** 県下の一人当たりの調定額の平均、いわゆる県内中位を適正な水準の目安として考える。

**質問** 今回の税率は三年先を見通したものとことだが、平成二十四年度以降の税率については、どのように見通しているのか。

**市長** 県内中位を維持していくためには平成二十四年で約四億円、平成二十五年で約四億六千万円を一般財源から入れなければならぬという推計となるので、市民の皆さんの理解の中で対応を考える。

**質問** 税率の上昇を抑えるために高騰する医療費削減の取組は。

**部長** 数値目標での削減計画はないが、被保険者の健康づくりの推進、疾病予防と健康意識の高揚を図ることで抑制に努めている。

**質問** 市民参加による合意形成の方法は。クンチョウ酒蔵の活用問題、岩澤重夫画伯の美術館問題についての市民の意見募集がパブリックコメントという方法で行われているが、市民の理解を得るための最善の方法か。

**市長** パブリックコメントは条例で定められており、市民の意見を幅広く求める一つのやり方であるが、それで終わりにすべきではないと思っている。

**質問** 意見を聞くに当たっては構想案などを市民の目に触れる場所（公民館や図書館、パトリア等）に置くことが重要ではないか。

**市長** より多くの市民の皆さんに関心を持ってもらい、意見をいただくために必要であれば検討する。

生活道の除雪対策について

吉田恒光

**質問** 今年の冬は特に積雪が多く、凍結し通勤や通学に支障があり、市民からの苦情が多くあった。除雪対策の対応について伺う。

**部長** 市道延長が膨大な距離なので生活道路は利用者に除雪作業をお願いしてきたところである。公共性の高い路線や高齢化、過疎化により除雪困難な路線を優先的に機械により除雪作業を行っている。

**質問** 県道を先に除雪していて、市道が後回しになっている。利用者にとつて危険だ。県道・市道を一体となつて除雪作業ができないのか伺う。

**部長** 基本的に、国道・県道を優先して除雪を行っている。市道の除雪が遅れるので今年度より、市が二台のグレーダーを確保し、優先度の高い場所に対応したい。

**質問** 県・市が一体となつて除雪作業を行うことを利用者が望んでいると思うが、できないのか伺う。

**部長** 一体的な体制を作っていないが、今後は県と十分協議し、対応を考えたい。

**質問** 防災計画を見直すところがあるが地震の規模を想定して見直すのか。いつまでに見直すのか伺う。

**部長** 一尺八寸山断層等を震源とする直下型地震等による災害を想定している。また、今年度中の計画策定を予定している。

**質問** 市の指定している避難場所には、急傾斜地崩壊危険場所に隣接している所もあるが、安全性は確保されているか伺う。

**ホームページのご案内**

<http://www.city.hita.oita.jp>

日田市議会では、ホームページを開設しています。このホームページでは、市議会の結果などを掲載するほか、過去の会議録も検索できます。

また、市立淡窓図書館、各振興センター、振興局、地区公民館には、会議録を備えています。6月定例会の会議録は、9月上旬から閲覧することができます。

**議会をご覧になりませんか**

市議会は、公開を原則としていますので、どなたでも傍聴することができます。

車いす（3台分）での傍聴もできます。

皆さんのお越しをお待ちしています。

報 告

各委員会の  
議案等の審査結果

● 総務委員会 ●

日田市税特別措置条例の  
一部改正等を可決

日田市税特別措置条例の一部改正は、過疎地域自立促進特別措置法第三十一条に規定している地方税の課税免除又は不均一課税に伴う措置が適用される場合等を定める省令ほか、企業立地促進法等二省令の一部が改正されたので、これに準じて所要の措置を講ずるもので、原案のとおり可決した。

また、本議会では、企業立地促進条例の一部改正も併せて行われていることから、今後の企業立地の更なる推進に期待を示した。

日田市一般会計補正予算は、歳入歳出にそれぞれ二千五百三十九

万五千円を追加し、補正後の予算総額を三百八十一億二千百六十六万千円とするものである。

歳入の補正は、県支出金を八十五万円増額するほか、歳出に伴う財源を財政調整基金繰入金で措置し、市債を千三百万円増額するものであり、原案のとおり可決した。

専決処分（日田市税条例の一部を改正する条例）の承認は、東日本大震災に伴う被災者の支援を目的に、地方税法の一部を改正する法律が平成二十三年四月二十七日から施行され、これに準じ、土地、住宅及び家財等の資産の損失に対し、雑損控除の特例、住宅ローン減税の適用の特例、固定資産税及び都市計画税に關し所要の措置を講ずるため、日田市税条例の一部を改正する条例を専決処分したも



のであり、原案のとおり承認した。なお、審査時点でこの条例の適用を受ける日田市民はいなかった。

● 教育福祉委員会 ●

国保条例の一部改正と  
上・中津江小中一貫校  
設計委託費を可決

日田市国民健康保険条例の一部改正については、昨年度、一人当たり平均で十七・七%増と大幅な増額となったことから、被保険者の税負担に配慮し、県下十八市町村の中間程度の税額を目指し、決算剰余金の全額と国民健康保険準備基金からの繰入金を充当し、より最終的な決算見込に近い算定により、平成二十三年度は年額八万七千円、二・二%の引下げを講じており、多数をもって原案のと

本会議のテレビ中継

一般質問は、水郷TV（市情報センター）及びKCVコミュニケーションズで生中継し、後日、録画放映も行っていきますので、是非ご覧ください。

おり可決した。

また今回の算定は、三年間の収支を見通したものであり、平成二十四年度以降三%ずつ増税をした場合、平成二十四年度では四億五百万円強、平成二十五年度では四億六千万円強の財源不足となるとの説明と、その財源不足をどうするかは今後慎重に検討するとの回答には、「財源不足に対しては、一般会計からの繰入れもやむを得ない」などの意見が出された。

平成二十三年度日田市一般会計補正予算のうち教育振興費の中津江・上津江地区小中学校校舎等新增改築・改修事業は、津江中学校の位置に小中一体型の小中一貫校の小学校棟新築工事及び津江中学

校棟改修事に係る基本設計、実施設計を委託するものであり、審査の中で、設計に当たっては、現場教職員の意見を十分に取り入れること、地域の要望及び環境に合った建物とすること、日田材を多く取り入れ、小中一貫校として特色のある校舎にすること、地元企業を採用することなどを要望し、原案のとおり可決した。

● 経済環境委員会 ●  
市民の安全を確保する  
暴力団排除条例を制定

日田市暴力団排除条例の制定については、暴力団の排除を推進し、もって市民の安全で平穏な生活を確保し、及び経済活動の健全な発展に寄与するために定めるものであり、原案のとおり可決した。

審査の中では、条例を制定し、暴力団を排除する取組を行った他の市で、逆に住民の安全が脅かされた例が紹介された。委員会では、このようなことが起こらないよう、警察などと緊密に連絡を取り、市民の安全が確保されるよう強く要望した。

また、市民集会の開催など広報・

啓発を充実させ、より実効性のある条例とするよう求めた。

日田市企業立地促進条例の一部改正については、立地企業に対する指定要件の緩和や奨励措置などの見直しを行うことで、新たな雇用機会の拡大を図るために必要な措置と認め、原案のとおり可決した。

指定要件の緩和の主なものは、ソフトウェア業やコールセンターなどの情報提供業を対象業種に加え、土地取得から一年以内の着工を三年以内の着工に拡大するなどである。また、奨励措置に「土地及び建物などの賃借料に対する助成」を加えた。

審査の中で、「新規雇用者の定義において、雇用の時期が緩和される措置をとったことは好ましいが、新規採用については、できるだけ正社員の雇用を促進するよう努めていただきたい」との意見が付け加えられた。

● 建設委員会 ●  
工事委託協定の締結について

工事委託協定の締結については、

平成十五年度から平成二十四年度までの十か年計画の公共下水道日田終末処理場の改築更新計画に基づき、平成二十三年度と平成二十四年度に予定している汚泥消化施設、汚泥処理運転操作施設及び汚泥処理計装施設の各更新工事における機械設備及び電気設備工事について、日本下水道事業団と委託協定を締結しようとするものである。

下水道法では、公共下水道の処理施設の実施設計及び監督管理は、資格を有した者以外に行わせてはならないと規定されている。現在、本市において必要な資格を有した職員がいないことや、内容に精通した高度の専門的な知識が要求されることから、市に代わってその改築更新についてのノウハウを備えた、日本下水道事業団と委託協定を締結しようとするものであり、本案は原案のとおり可決すべきものと決した。

なお、事業団と工事委託協定を締結する際には、地元企業の育成と経済浮揚の振興を図る観点から、多くの地元企業が受注できるように、事業団に対する強い働き掛けを要望した。

九月定例会議事日程

六月定例会の議会運営委員会、次回（九月）定例会の議事日程案を協議し、次のとおりとなりました。なお、正式な日程は八月二十六日（金）開催予定の議会運営委員会にて決定します。

- ・ 八月三十一日（水）：開 会
- ・ 九月七日（水）
- ～ 九日（金）                    ： 一般質問
- ・ 九月十三日（火）            ： 議案質疑
- ・ 九月十四日（水）
- ～ 十六日（金）                ： 各委員会
- ・ 九月二十一日（水）：開 会

議会の動き

議会改革検討委員会設立

日田市議会では、六月定例会最終日の六月二十七日に、議会改革検討委員会を設立しました。委員会は、各会派から選出された議員六名と市議会議長の計七名で構成し、今後の議会の在り方や議会機能の強化など、議会改革及び活性化について検討していき、市民に分かりやすい議会運営を目指します。

## 請願の結果

六月議会では、請願四件が審議され、次の結果となりました。

### 採択されました

- 「義務教育費国庫負担制度の堅持を求める」意見書提出に関する請願
- 「脳脊髄液減少症の診断・治療の確立を要望する意見書」の提出を求める請願
- 高齢者を孤独死・自殺から守る施策を求める請願書

### 不採択となりました

- 国民健康保険税の引き下げなどの改善を求める請願署名

### 意見書

- 六月議会では、次の意見書を採択し、国の関係機関に送付しました。
- 義務教育費国庫負担制度堅持に関する意見書
- 子どもたちに、教育の機会均等と教育水準を保障するため、必要不可欠な義務教育費国庫負担制度

## 虚礼廃止にご理解ご協力を!

### 公職選挙法(寄附行為)に関するQ&A

- Q** 議員が、選挙区内の初盆参りにおいて、ご仏前や線香をお供えすることはできますか。
- A** 親族（六親等内（またいとこ・はとこ）の血族、配偶者及び三親等内（おじ・おば・おい・めい）の姻族）に対して行う場合を除いて、寄附に当たりますので禁止されています。
- Q** 議員が、暑中見舞いや残暑見舞いを選挙区内の市民に対して出すことは許されますか。
- A** 親族に対して行う場合及び答礼のための自筆によるものを除いて、禁止されています。例えば、パソコン等による裏面印刷は、自筆によるものと認められませんので禁止されています。さらに、署名のみ自筆したもの、または、口述して他人に代筆させたものも自筆とは認められません。

この他、議員が、各種総会や地区運動会などで寸志・ご祝儀やお酒を出すこと、親族以外へ贈るお中元・お歳暮・病気見舞い・入学祝いなど、従来から慣行として行われていることであっても、寄附に当たりますので禁止されています。

また、議員に対し、市民がこれらを求めることも違反となります。

## 編集後記

五月の臨時会において議会編集委員会の構成も変わり、新委員にて「市議会だより」をお届けします。

この「市議会だより」も平成四年一月発刊以来九十二回を迎えます。キャッチフレーズである「日田の今が見える、日田のこれからが見えてくる」。このことを編集の基本とし、皆様方に一般質問、常任委員会等、審議内容や議会活動などについて多くの情報を提供できるように編集に努めてまいります。

### 編集委員会

委員長	赤星 仁一郎
副委員長	権藤 清子
委員	嶋崎 健二
"	古田 京太郎
"	坂本 茂
"	居川 太城

### 人権擁護委員

次の方々を人権擁護委員に推薦することに同意しました。

中村 剛敏 氏 (内河町)
羽野 皇 氏 (天瀬町)
原 説丸 氏 (大山町)